

有限会社 大山建設工業

令和5年度版 環境経営レポート (No.13)

活動期間 令和5年3月～令和6年2月

発行日 令和6年5月31日 (改定日 令和6年10月25日)

取得日 平成23年12月6日

登録番号 0007807

対象範囲 当社の全組織と全活動

会社概要

代表者 代表取締役 大山 浩

所在地 茨城県水戸市木葉下町178-1

連絡先 Tel 029-254-3527

Fax 029-254-6012

E-Mail ooyamakensetu@dolphin.ocn.ne.jp

事業内容 土木・建設工事業

取得許可 一般建設業

茨城県知事許可(般-04)19947号

令和4年11月6日から令和9年11月5日

種類: 土木工事業

とび・土工工事業

管工事業

舗装工事業

水道施設工事業

解体工事業

産業廃棄物収集運搬業 801132118

令和4年3月7日から令和9年1月9日

種類: 1)汚泥

2)廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)

3)紙くず、4)木くず、5)繊維くず

6)金属くず(自動車等破砕物を除く)

7)ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く)

8)がれき類(石綿含有産業廃棄物を除く)

以上8種類

国家資格保持者

1級土木施工管理技士 1名

2級土木施工管理技士 3名

事業規模

	単位	R3年	R4年	R5年
年間売上	百万円	76	128	96
施工件数	件	12	15	13
従業員数	人	9	9	8
事業所床面積	m ²	77.76	77.76	77.76
倉庫床面積	m ²	88.13	23.82	23.82
資機材置場面積	m ²	4,095.00	4,095.00	4,095.00

環境経営方針

有限会社 大山建設工業は、土木工事を主事業として、かけがえのない地球を守るために、「地域の環境に配慮した建設工事」を社員ひとりひとりが創意工夫することにより、地域社会との融和を図り環境保全に貢献します。

- 当社は、事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め継続的な改善に努めます。
- 当社の事業活動に関連する環境・その他の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
- 当社の事業活動から、環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。

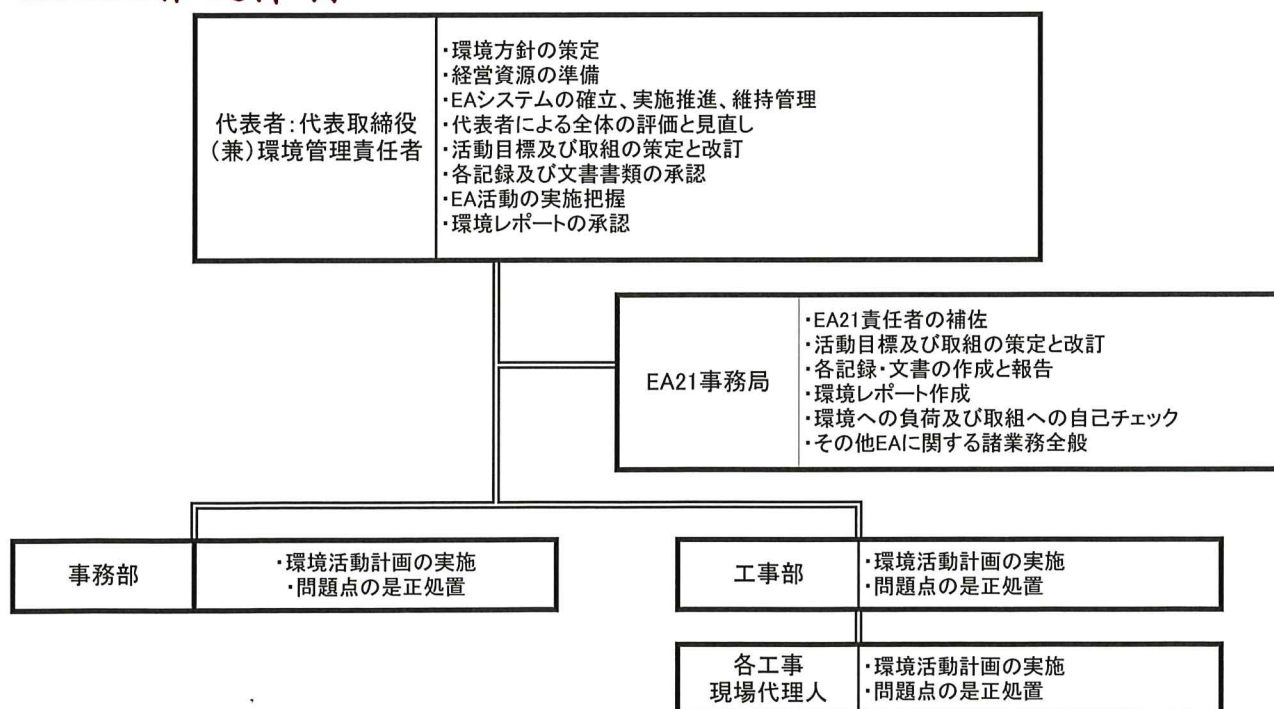
1. 二酸化炭素排出量の削減
 - ・電力使用量の削減
 - ・燃料使用量の削減
2. 廃棄物の減量化
 - ・建設副産物の正常処理
 - ・一般可燃物の削減
3. 水道使用量の削減
4. 化学物質使用量の削減
5. グリーン購入の促進
6. 自らが施工する建設工事の環境への配慮
 - ・騒音・振動・粉じんの被害を抑制
 - ・工事案内
7. 経営における課題とチャンスへの取り組み

この環境経営方針は当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

制定日 平成23年3月1日
改定日 令和5年2月4日

有限会社 大山建設工業
代表取締役 大山 浩

EA21推進体制



環境経営目標と実績

取り組み項目	基準値	単位	R5年度		基準値	R6年度	R7年度	R8年度
			目標	実績		目標	目標	目標
1 二酸化炭素排出の削減	電力使用量の削減		H25年度比 9%削減	○ 110.0%	R5年度 事務所 6,221.00	R5年度 1%削減 6,158.79	R5年度 2%削減 6,096.58	R5年度 3%削減 6,034.37
		kWh/年	6,955.13	6,221.00	2,805.67	2,777.61	2,749.56	2,721.50
		kg-CO2	3,213.27	2,874.10				
	工事現場1現場		H25年度比 9%削減	実績なし	R5年度 工事現場1現場 実績なし	R5年度 1%削減	R5年度 2%削減	R5年度 3%削減
		kWh/月	1,356.91					
		kg-CO2	626.89					
	燃料使用量の削減		H25年度比 7%削減	○ 140.0%	R5年度 工事現場 9,365.35	R5年度 1%削減 9,271.70	R5年度 2%削減 9,178.04	R5年度 3%削減 9,084.39
		%/年	15,618.80	9,365.35	24,256.26	24,013.70	23,771.12	23,528.57
		kg-CO2	40,452.69	24,256.26				
	ガソリン使用量		基準値	△ 93.0%	R5年度 事務所・工事現場 5,340.55	R5年度 1%削減 5,287.14	R5年度 2%削減 5,233.74	R5年度 3%削減 5,180.33
2 廃棄物減量化	事務所・工事現場		5,000.00	5,340.55	12,390.08	12,266.16	12,142.28	12,018.37
		%/年	11,600.00	12,390.08				
	灯油使用量		基準値	△ 92.0%	R5年度 事務所・工事現場 54.00	R5年度 1%削減 53.46	R5年度 2%削減 52.92	R5年度 3%削減 52.38
	事務所・工事現場		50.00	54.00	134.46	133.12	131.77	130.43
		%/年	124.50	134.46				
	LPガス使用量		H25年度比 9%削減	○ 190.0%	R5年度 事務所・工事現場 3.73	R5年度 1%削減 3.69	R5年度 2%削減 3.66	R5年度 3%削減 3.62
	事務所・工事現場		40.86	3.73	11.19	11.07	10.98	10.86
		kg/年	122.58	11.19				
		kg-CO2						
3 水道使用量の削減	建設副産物の正常処理		100%遵守	100%遵守	100%遵守	100%遵守	100%遵守	100%遵守
	工事現場設計書遵守率			○	工事現場設計書遵守率			
	・アスファルト・コンクリート・木材・廃プラスチックは100%リサイクル維持				・アスファルト・コンクリート・木材・廃プラスチックは100%リサイクル維持			
	一般可燃物の廃棄量		H25年度比 6%削減	○ 161.0%	R5年度 事務所(資源ゴミは含まない) 29.61	R5年度 1%削減 29.31	R5年度 2%削減 29.02	R5年度 3%削減 28.72
	事務所		77.64	29.61				
		kg/年						
	(資源ゴミは含まない)							
	水道使用量		基準値	○ 111.0%	R5年度 事務所 220.50	R5年度 1%削減 218.30	R5年度 2%削減 216.09	R5年度 3%削減 213.89
	事務所		250.00	220.50				
		m³/年						
4 化学物質使用量の削減	当社での取り扱いはありません							
5 グリーン購入の促進	グリーン商品・エコ製品の購入品目数 事務所・工事現場		グリーン商品・エコ製品の購入を促進 (事務所・工事現場)	19品目	グリーン商品・エコ製品の購入を促進 (事務所・工事現場)	グリーン商品・エコ製品の購入を促進 (事務所・工事現場)	グリーン商品・エコ製品の購入を促進 (事務所・工事現場)	グリーン商品・エコ製品の購入を促進 (事務所・工事現場)
6 自らが施工する建設工事の環境への配慮	騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底		騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底 100%	○ 100.00%	騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底 100%	騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底 100%	騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底 100%	騒音被害の予防 振動被害の予防 粉じん被害の予防 工事案内の徹底 100%
7 経営における課題とチャンス			若手の人材育成 (20～30代)	実務経験中	若手の人材育成	若手の人材育成	若手の人材育成	若手の人材育成

* 電気事業者二酸化炭素排出係数(青字)は平成30年度の算定用 東京電力エナジーパートナー㈱0.462kg-CO2/kWh (基準値も含む)を使用する。

* 水道の使用量は社宅と水道メーターが共有なので、使用量3/1を会社使用量とする。

<目標>

項目2 廃棄物減量化 建設副産物の処分遵守事項 ・処分場等との契約 ・マニフェスト作成 ・返還後の確認 ・集計 ・水戸市への報告(年1回)

建設リサイクルに関する目標及び活動計画においてはアスファルト コンクリート 木材 廃プラにおいて100%リサイクルを維持する。

建設混合廃棄物においては全体の0.6%と極めて少ないため削減目標を設定しない。

項目6 環境への配慮事項 ・騒音・振動・粉じん抑制 ・特定建設工事時の届(騒音・振動・粉じん) ・予告看板及び立て看板 ・片側通行または

通行止め ・交通誘導員配置 ・交通誘導案内地図 ・近隣住人への事前案内 ・クレーン

<実績判定>

100%以上=○ 99.9%～90.0%=△ 90.0%未満=×

項目2 建設副産物 } 100%=○ 100%以下=×

項目6 環境への配慮

項目5 ○×判定なし

※下記に関しては令和5年度までとする。

<令和2年度からの基準値変更> 項目1 ガソリンの使用量削減 基準値をH25～29年度の平均5,061.24÷5,000.00%/年とする。

<令和3年度からの基準値変更> 項目3 水使用量の削減 基準値をH25年度数値の約85%である、250m³/年とする。

<令和4年度からの目標値変更> 項目1 灯油使用量の削減 目標値を基準値のH25年度数値の50%/年で固定し、達成率で評価する。

次年度の取り組み

令和6年度より基準値を令和5年度の実績数値として、目標を削減していく。

電気事業者二酸化炭素排出係数(緑字)は令和5年度の算定用 東京電力エナジーパートナー㈱0.451kg-CO2/kWh (基準値も含む)を使用する。

項目2の建設混合廃棄物においては(令和5年度の実績上)全体の0.2%と極めて少ないため削減目標を設定しない。

環境経営計画／手順 と実績

項目	実施項目	手順	責任部署	実施計画														実施状態
				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
1 二酸化炭素の削減																		
電力使用量の削減	①節電シール等の表示	・各電気スイッチ付近に省エネを促す表示をする	事務所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
		② 未使用時の電気消灯の徹底		・支障のない場所の消灯の徹底	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
				・外出時・退社時の消灯の徹底	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	③エアコン温度管理の徹底	・エアコンの設定温度管理の徹底		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
		・エアコン設定温度を設備付近に表示する 温度設定(冷房28℃ 暖房20℃)		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
		・ブラインド等を使用する(夏期)				⇒	⇒	⇒	⇒									○
		・複層ガラスを使用する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
		・エアコン簡易点検をする(3ヶ月に1回)		⇒			⇒			⇒			⇒					○
		燃料使用の削減																
(車両) 軽油・ガソリン	①日常点検の実施	・日常点検の実施	現場事務所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②エコドライブの徹底	・エコドライブの徹底を促す		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	③アイドリングストップ(朝の始動時除外)	・アイドリングストップ(朝の始動時除外)の徹底		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	④効率的な使用	・重機のレンタル使用時は、燃費効率良い機種を検討する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	⑤エンジン出力の低設定	・重機の出力を低設定にする		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	⑥普通車購入の際、ハイブリッド車検討	・普通車を購入する際はハイブリッド車の採用を検討する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
灯油(ストーブ)	①使用の限定	・早朝のみの使用	事務所	⇒							⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②エアコンへの切替	・暖かくなった時点でエアコンへの切替								⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○		
	③適正な温度設定	・通常の設定(20℃) 酷暑の際は数度切替も可								⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○		
LPガス	①適切な使用	・寒い時期だけの利用	事務所	⇒							⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②温度設定	・弱の火力設定		⇒								⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
2 廃棄物の減量化																		
建設副産物の 正常処理	①工事設計書に沿った分別の実施	・工事設計書に沿った分別を確認する	現場	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②工事設計書に沿った処分の実施	・工事設計書に沿った処分方法を確認する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	③マニフェストでの遵守管理	・分別・処分方法をチェックする		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
		・産業廃棄物管理票交付状況の提出					⇒	⇒										○
	④アスファルト・コンクリート・木材・廃プラスチックは100%リサイクルを維持	・アスファルト・コンクリート・木材・廃プラスチックは100%リサイクルを維持		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○
一般可燃物の削減 (資源ゴミは削減に含まない)	①廃棄物排出量の把握(計量管理)	・可燃ゴミ排出時の計測をする	事務所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②リサイクルボックスによる分別の実施	・カン・ビン・ペットボトル・紙類の分別をする 各分別品目名の表示 上記分別資源は、市の資源回収時に協力する。		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○		
	③コピー紙の両面利用	・コピー用紙のリサイクルに努める 紙の裏面利用を徹底(手差しトレイを利用) 『両面利用保管箱』を設置し、片面使用の紙を回収する 『使用済み保管箱』に両面使用用紙を回収する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
3 水道水使用量の 削減	①節水シール等の表示	・節水シールを水道付近に貼る	事務所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②洗いおけの設置	・『洗いおけ』によるまとめ洗いでの節水に努める		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	③屋外水道のノズルガン利用	・屋外水道ホースでのノズルガンを利用し節水に努める		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
4 化学物質使用削減	当社での化学物質使用はなし																	
5 グリーン購入の促進	①必要性の検討	・物品を仕入れる際の必要性をよく考える	現場事務所	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②購入の際、エコ製品・商品を優先	・購入の際はエコ製品・商品を優先する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
6 自らが施工する 建設工事の環境 への配慮	①騒音・振動・粉じんなどの特定 建設作業・工事であるか確認	・特定建設作業の場合は県・市に届出をする	現場	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	②工事の看板設置	・予告看板・工事看板・案内など施工内容で準備し設置する		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	③近隣などへの案内	・必要に応じて近隣住人への事前案内		⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
	④フロンガス排出の抑制	・第一種特定製品の定期点検(重機エアコン)				⇒	⇒			⇒				⇒			○	
7 経営における課題 とチャンス	①従業員の高齢化のため人材 が不足しているので補う	・求人募集をする ・採用人材の継続勤務 ・若手の資格取得	事務所	⇒	⇒			⇒	⇒							⇒	△	
				⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	○	
					⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									○

実施状態 ○:できた △:ややできた ×:努力が必要

法規制等への違反、訴訟等の有無

法 規 制	遵 守 内 容
建設業	・建設業許可更新 ・元請負人の義務
廃棄物の処理及び清掃に関する法令	・廃棄物収集・運搬業の許可と更新 ・廃棄物収集運搬の基準 ・管理表の送付と管理
建設リサイクル法	・分別解体等の実施義務 ・対象建設工事の届出及び説明 ・請負契約に係る書面の記載事項 ・再資源化等の実施義務 ・発注者への報告 ・技術管理者の設置 ・標識の掲示と帳簿の作成
建設副産物適正処理推進要綱 ほか法規制類	・適正処理における体制 ・適正処理における計画 ・適正処理における記録保管 ・再生資源の基準 等
道路交通法	・安全運転の義務 ・道路の使用の許可 ・禁止行為
自動車リサイクル法	・使用済車輛の引渡 ・リサイクル料金の支払い
特定特殊自動車排出ガスの規制	・使用の制限 ・特定自主検査
グリーン購入法	・環境物品等選択の努力義務
廃棄物に関する法規制 (市例規)	・廃棄物の適正処理 ・廃棄物の再資源化による減量化
騒音規制法	・特定建設作業の基準及び届出
振動規制法	・特定建設作業の基準及び届出
大気汚染防止法	・特定工事の届出
浄化槽法	・設置時届出 ・設置後の水質検査および定期水質検査 ・保守点検 ・清掃
フロン排出抑制法	・簡易点検の実施 ・廃棄時の引渡および料金の支払い ・特定解体工事の際、第一種特定製品の確認
家電リサイクル法	・長期使用をし廃棄を抑制する ・廃棄する際の料金の支払い
環境基本法	・環境に配慮した事業活動

当社に適用される上記の法令・その他関連諸法規等は、令和6年3月12日現在で、違反及び訴訟はありません。

代表者による活動の振り返り

令和5年度は契約した公共工事の数が予定よりも多くなり、後半はかなり忙しくなった。だが、契約した工事が多かった割には、現場で使用する軽油の量がそれほど増加せず、エコアクションのうえでは良い結果となった。ガソリンと灯油は目標を達成できなかったが、達成率は90%以上だったので、そこまで、増加したという訳ではない。

次年度は基準年度が変更となるので、どのようになるか分からないが、努力を重ねていけたら良いと考えている。